

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		らいおんキッズGrowth		公表日		2026年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・個別のスペースと広いスペースとあるので、保育内容に応じて使い分けしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・子どもたちの年齢差があるので午前午後のグループに分けて行う。	・専属の職員があと一人必要。 ・未滿時クラスの子がいると座って入れない子は1対1で対応している。そのため職員数は必要だと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・視覚的に情報を伝える。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・音が響くのは構造上どうにもならないので、子どもたちに声の大きさなど伝える。	・開所して1年経っていないので、まだいい環境である。これを維持していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて個別対応ができるスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	日常の業務の中で、随時振り返りや情報共有を行っている。	・幼稚園との兼務職員は時間が取れない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			保護者からの意見を把握する機会として評価を実施した。	・R7年9月開所で、初めての評価なので、今後評価をつなげていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日常の打ち合わせや情報共有を通じて、職員の意見を把握している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	第三者評価は実施できていないが、自己評価や職員間での振り返りを通じて、業務改善に取り組んでいる。	・外部評価を今後行っていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・地域の研修会やオンラインの研修会などに参加している。	・幼稚園との兼務職員は時間が取れない。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・保護者との面談を行い、丁寧に話を聞くようにしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・担当者会議には出られる職員は全員出て情報を共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で情報共有を行い、支援計画に基づいた支援を実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		・フォーマルなアセスメントを取り入れて行く。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づき、支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で相談しながら活動内容を検討している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子どもの状況に応じて活動内容を工夫している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		幼稚園での様子を踏まえ、子どもの特性や課題に応じた個別支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			勤務体制の中で打ち合わせ時間の確保が難しい場合があるため、情報共有の方法について工夫が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		日々の支援について、職員間で振り返りや情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の支援内容について記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	・研修会等を通して、様々な方々と関わるチャンスを作っている。	・地域の保健師や行政機関等との連携体制の構築を進めている。 ・今後、関係機関との連携をさらに強化していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・幼稚園への送迎時に療育の様子を報告をしたり、時間の空いている時に情報交換をしている。	関係機関との定期的な情報共有や連携体制の強化を図っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				就学に向けた移行支援について、関係機関と連携しながら適切に実施していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者向けの研修や情報提供の機会を設けている。	今後、家族支援の充実に向けて取組を強化していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日常の送迎時等を活用し、保護者への積極的な声掛けや相談対応を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		・保護者同士の交流機会として、交流会の開催を予定している。 ・先輩保護者の話を聞く機会づくり等、支援の充実を図っていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的情報提供を行う。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2	・行事はないが、園の周りへ積極的に散歩を行い、挨拶等で交流するようにしている。	地域との交流機会の充実に向け、今後取組を検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4	各種マニュアルの策定および訓練を実施している。	マニュアル内容の職員および家族等への周知の強化が必要である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2	業務継続計画（BCP）の策定を行っている。	業務継続計画（BCP）に基づく訓練および職員への周知について、体制の強化を図っていく必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・幼稚園と連携を図っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・幼稚園と連携を図っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		安全確保に関する取組を実施しているが、さらなる体制強化が必要である。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		安全に関する情報の周知について、今後充実を図っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				